



地元食材を囲んで / in 等覚寺 / SDGs 座談会 理想の苅田町への思いを語り合う

苅田町では、「苅田町 SDGs 推進プロジェクト」を策定し、町の特徴を踏まえたSDGsの推進に取り組んでいます。今回は、様々な分野の皆さんとざっくばらんにSDGsについて語っていただこうと、美しい景色を望む等覚寺の天空カフェで、「SDGs 座談会」を開催しました。



西日本工業大学
境 悠也

時に、「このケーキ僕が作ったんです」って言ったら、「男の子なのにすごいね」って言われることがあって。男性なのにケーキが作れるなんて繊細だねと言われると、それは違うよなって思いますね。

松永 気づかないうちに「男性・女性はずだ」など決めつけているようなことがあるかもしれませんね。では、多文化共生という視点から、マクドナルドさんはいかかですか？

マクドナルド 苅田町は、人口のうち外国人の比率が約2・8%で県内でもトップクラスに高いです。特に働く世代が多いので、そういった外国人の力を地域の力に変えて、「一緒に地域をつくっていくんだ」という方向に向かっていきたいなと思います。外国人が地域社会の一員になって多文化共生社会を作っていく。それがSDGsにも繋がっていくと思いますね。

松永 皆さん素敵な活動をされていますね。さらにそれらが繋がって、SDGsの輪が広がると良いですね。



苅田ロータリークラブ
坂岡 英俊

理想の苅田町ってどんな町？
松永 実は今日、スケッチブックを用意してまして、皆さんにはこんな苅田町になったらいいなっていうのを書いていただきたいと思います。
山口 「挨拶に溢れた町」ですね。誰とでも気兼ねなく挨拶ができて、対話ができるいいなと思います。
松永 それは気持ち良い町ですね。対話からパートナーシップにも繋がります。
マクドナルド 「色々な文化が交わる町」です。世界中、日本から苅田町に人が集まってくるので、繋がりが生まれたらなと。そして、「色々な言葉が飛び交う町」。これも外国語だけじゃなくて、方言とかも。そういったのを全部含めて、楽しい町になったらと思います。
境 「男女の壁がない町」です。男女関係なく何でもフランクに話せる、そういう町になればいいなと。あとは、「デザイン性のある町」。デザイン

それぞれのSDGsに関する取組み

松永 それではまず、皆さんの会社や団体で行っているSDGsの取組みについて教えていただけますか？

山口 日産自動車九州では、主にCO2削減ですね。弊社では2030年にCO2排出量を半分以下に、2050年にカーボンニュートラルを達成するという大きな目標があります。この目標を社内浸透させるため、新聞を発行したり、環境委員会を開いたりしています。

坂岡 ロータリークラブでは、海洋ごみをなくす取組みとして、10月末に白石海岸の清掃活動を行いました。なんと、2トントラック13台分のごみが一日で集まりました。

町長 町では、広報紙に毎月SDGsの記事を掲載して、内容の周知を図っています。また、カーボンニュートラルへの取組みとして、例えば、電気自動車を購入した方に補助金を出すといったことを行っています。



北九州市立大学
松永 裕己



多文化共生推進員
マクドナルド 晶子

んはいろんな問題解決できるなって思っていて、デザイン性のある町だと皆が笑顔になって楽しいんじゃないかなと思います。

坂岡 やっぱ「ごみのない綺麗な町」になったらいいなっていうのと、ロータリーの活動って奉仕活動がメインになってくるので、「皆が楽しく住みやすい町」。これからもロータリーの活動を通して、そういう町にできたらという思いを込めて書きました。

教育長 まずは繋がる町ということ。「人と人や、人と地域が繋がる町」。それから、SDGsがずっと続いていくように、そして未来に続くまちということと、「続ける町」。また、苅田町は、工場地帯と住宅街がある



苅田町長
遠田 孝一



日産自動車九州(株)
山口 和男

また、町内の企業や団体と協定を結び、自発的に会社の周りの草刈りや掃除をしていただいている「道路サポート活動」もSDGsへの取組みの一つですね。

松永まさに17番目のゴール「パートナーシップで目標を達成しよう」に直結している取組みですね。教育現場ではどうですか？

教育長 町内の学校では、環境を守るという点で、殿川の水質を守っていくために、児童が保護団体と一緒にホテルの幼虫を放流したり、海の資源を守るために、水産試験場の方とガザミの放流を行ったりしてきました。また、給食の牛乳のプラスチック製ストローをなくすために、直飲みが簡単にできる容器を利用できるようにしています。ほかに、ジェンダー平等の観点から、中学校で制服の選択制（女子生徒でもズボンを選べるなど）を来年度からスタートします。



苅田町教育長
井上 三津子

ので、「つり合いが取れた町」。田舎と都会の良さがつり合っていたらいいなと思います。最後に「包み込む町」。これは多文化共生です。外国の方も一緒に包み込んでいけるような、そういう苅田町になったらいいなと思います。

町長 「人に優しく、元気な町」です。人や環境に対する思いやりというのが非常に大切だと思っていて、これからSDGsを通じた活力ある元気なまちづくりのために、リーダーシップを取っていきたいと思っています。

松永 人への思いやりがよく聞きますけど、環境への思いやりっていうのはすごく良いですね。

今、皆さんに理想の町について話していただきましたが、これに近づかために、具体的にアクションとして何ができるかというのを考えるのがすごく大切なことだと思います。ぜひ小さなことからでも行動していただければ理想の町に近づくんじゃないかなという気がしています。